

広報

けせんぬま・もとよし 広域

2025.3.1

No.83

発行／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合
(気仙沼市赤岩五駄鱚 43-2 / TEL:0226-22-9111)

第9回

気仙沼・南三陸

フォトコンテスト 入賞作品決定!!

入賞作品等16点による展覧会を開催!

(於:リアス・アーク美術館 / 会期:3月6日(金)~3月30日(日))

- 気仙沼・南三陸フォトコンテスト入賞作品……………②
- 令和7年度組合一般会計予算……………③
- 人事行政の運営等の状況について……………④
- リアス・アーク美術館 令和7年度の催事紹介……………⑥
- 広域消防 令和6年消防統計……………⑧

最優秀賞

『吐息』(旧志津川漁港)

小野寺 清春 さん(南三陸町)

優秀賞

優秀賞

「未来に残したい、私たちの今」をテーマに気仙沼市・南三陸町で撮影された写真を対象とした、第9回気仙沼・南三陸フォトコンテストの入賞作品が決定しました。今回は、37人の方から91点の作品をご応募いただきました。

審査は、1月10日に気仙沼・本吉広域防災センターで行われ、審査委員長でプロカメラマンの斎藤秀一氏（斎藤秀一写真事務所・仙台市）より、「応募数も多くなくなり、今までにはない新しく斬新な写真が何点も出てきたことがとても嬉しく思います。気仙沼や南三陸の新しい視点で表現した写真が今後増えることを期待しています。また高校生等の若い世代の方々からの応募が増えていくことでフォトコンテストがより一層盛り上がりを見せてくれることを楽しみにしています。」との総評をいただいております。



『ただいま一服中』(気仙沼魚市場)
村上 淳さん(気仙沼市)



『4,052秒 田中浜の星々の旅路』(大島田中浜)
荒谷 拓実さん(石巻市)

佳作



『海に祈り、海と生きるまち』(気仙沼復興記念公園)
三浦 明彦さん(登米市)



『海辺の夜明け』(サンオーレ袖浜)
首藤 久義さん(南三陸町)



『力を合わせて』(入谷)
藤島 純七さん(仙台市)



『きれいな海を未来に』(気仙沼漁港)
小檜山 裕行さん(角田市)



『母娘の夏休み～轟け潮吹き岩～』(波路上岩井崎)
荒谷 拓実さん(石巻市)



『おさかな天国』(魚市場)
阿部 浩典さん(静岡県富士宮市)



『春の里山』(廿一地区)
足利 義信さん(岩手県一関市)

賞候補

- ▽「幸せを運ぶ虹」
佐々木 均さん(多賀城市)
- ▽「荘厳なる夜明け折石に立つ光の道」
佐藤 剛士さん(気仙沼市)
- ▽「気仙沼サンマフェスティバル」
生駒 健一さん(兵庫県西宮市)



『気嵐の舞 俯瞰で捉えた静寂の筏』(松岩漁港)
佐藤 剛士さん(気仙沼市)



『着岸準備ヨシ!』(魚市場)
植木 秀雄さん(栃木県宇都宮市)

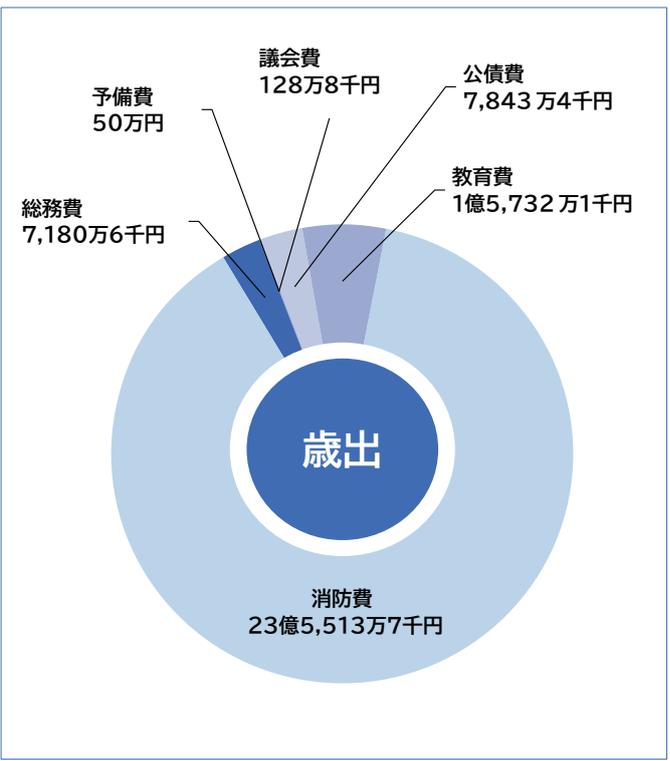
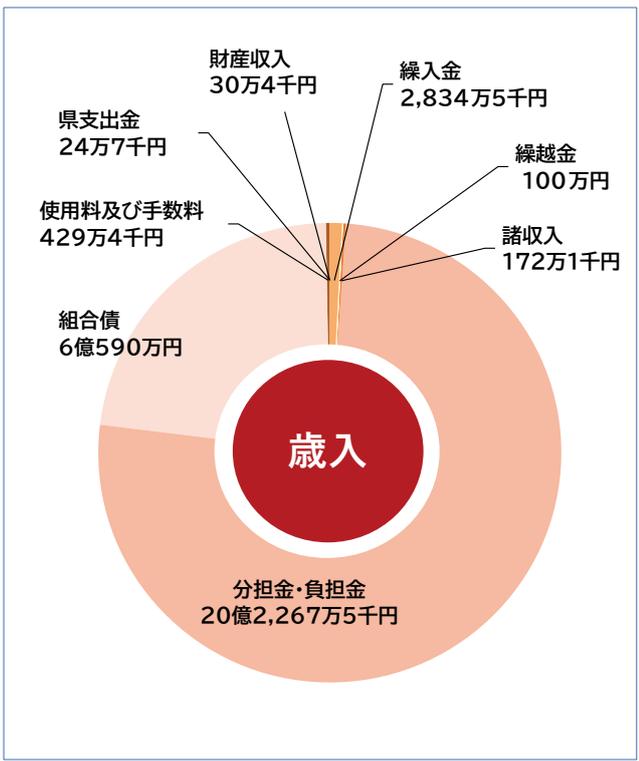


『超大漁の朝』(気仙沼魚市場)
村上 淳さん(気仙沼市)

令和7年度 一 般 会 計 予 算

総額 **26億6,448万6千円**

令和7年2月10日に開かれた第232回組合議会定例会において、『令和7年度一般会計予算』が原案のとおり承認されましたので、そのあらましについてお知らせします。



歳出の主な内容

議会費 128万8千円 (0.05%) 組合議会運営費	
総務費 7,180万6千円 (2.7%) 一般事務費、計画策定費、リアス・アーク美術館企画展等	
消防費 23億5,513万7千円 (88.39%) 防災・消防・救急活動費・施設管理費等	
教育費 1億5,732万1千円 (5.9%) リアス・アーク美術館施設管理費等	
公債費・予備費 7,893万4千円 (2.96%) 組合債の返済金等	

- ### 令和7年度の主な事業
- 第10回気仙沼・南三陸フォトコンテスト
 - 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車の更新
 - 資機材搬送車の更新
 - 災害情報機器室改修工事
 - N.E.blood21 vol.88～vol.91
 - 新！方舟祭2025
 - リアス・アーク美術館円卓会議
 - リアス・アーク美術館東面外壁改修工事

※()内は構成比

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区 分		全職種
支給実績（令和5年度決算）		2,298,200円
手当の種類（手当数）		7種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（令和5年度決算）		18,993円
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和5年度決算）		59.0%
内 容	①高度救命処置手当 1回 1,000円	②救急業務手当 1回 100～200円
	③機関手当 1回 100円	④災害業務手当 1回 200円
	⑤救助業務手当 1回 200～500円	⑥救急艇出動手当 1回 200円
	⑦防疫等作業手当 1日 3,000円～4,000円	

(4) 一般会計における時間外勤務手当

年度	支 給 総 額	職員1人あたりの支給年額
令和5年度	41,868,091円	219,204円
令和4年度	43,282,474円	224,261円

(5) 一般会計におけるその他の手当（令和6年4月1日現在）

区分	内 容
扶養手当	1 配偶者・父母等：6,500円、子：10,000円 2 その他の扶養親族：1人につき、6,500円 3 特定扶養（満16歳～22歳までの子）：1人につき5,000円加算 ○ 国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1 借家・借間に居住している職員：28,000円を限度に家賃に応じて支給 ○ 国の制度との異同：国と同じ
通勤手当	1 交通機関などの利用者：55,000円を限度に運賃に応じて支給 2 交通用具の利用者：使用距離に応じて、2,000円～32,700円を支給 ○ 国の制度との異同：1については、国と同じ 2については、国は2,000円～31,600円を支給

6. 特別職の報酬等

（令和6年4月1日現在）

職 名	区分	報酬額	職 名	区分	報酬額	
管 理 者	年額	69,000円	情報公開・ 個人情報保護 審査会委員	弁 護 士 知識経験者	日額	30,000円
副 管 理 者	年額	60,000円			日額	7,400円
議 会	議 長	年額	56,000円	リクス・アーク美術館 協議会委員	日額	7,400円
	副議長 議長	年額	48,000円 46,000円			
監査委員	議会選出 識見を有 する者	日額	7,400円	ふるさと市町村圏計画広域 活動計画策定住民協議会委員	日額	7,400円
		日額	8,300円			
教育委員会	教育長	年額	48,000円	地方公務員法第三条第三 項第二号及び第三号に掲 げる特別職の職員	日額	予算の範囲内 で任命権者が 定める額
	委員	日額	7,400円			

7. 職員の勤務条件、サービス、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間/1日	始業時刻	終業時刻	休憩時間
7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時から 午後1時まで

(2) 休暇の種類など

種 類	内 容
年次有給休暇	年20日取得可能
病欠休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇 (主なもの)	結 婚 休 暇：連続する7日以内 忌 引 休 暇：配偶者10日、血族の父母7日 等 夏 季 休 暇：6月から10月までの期間において3日以内 産前・産後休暇：産前8週間以内の期間、産後8週間 育児時間休暇：1日1時間又は1日2回、それぞれ30分
その他の休暇	介 護 休 暇：6か月の範囲内で必要な連続した期間

(3) 育児休業の状況（令和5年度）

区 分	男 性	女 性	計
取 得 者	6人	0人	6人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（令和5年度）

①分限処分

免 職	休 職	降 任	降 給	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免 職	停 職	減 給	戒 告	計
0人	0人	1人	0人	1人

(5) 職員のサービスの状況

職員のサービス規律に関しては、次の組合条例等に規定し、公務員としての綱紀の保持に努めています。

- ①気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員のサービスに関する規則
- ②気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員のサービスの宣誓に関する条例
- ③気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（令和5年度）

①職員研修の実施状況

区 分	研 修 名 等	受講者数 (延べ数)		
宮 城 県 消 防 学 校	専科教育	予防査察科	2人	
		警防科	2人	
		火災調査科	2人	
	幹部教育	中等幹部科	2人	
		特別教育	救急救命士再教育	2人
			救急隊員再教育	2人
			救助隊員再教育	2人
			通信指令員教育講習	2人
		女性消防吏員講習	1人	
		消防大学校	総合教育	幹部科
専科教育	警防科		1人	
救急救命東京研修所	救急救命士養成	2人		
その他(宮城県主催等)	人事評価研修、市町村職員研修ほか	256人		

②勤務成績の評定の状況

業務・能力・態度評価による人事評価結果を勤勉手当に反映しています。

8. 職員の健康管理及び

公務災害補償制度の状況（令和5年度）

(1) 健康診断の状況

区 分	受診者数(延べ数)
定期健康診断(春季・秋季)	310人
人間ドック等(脳検診含む)	69人
各種検診(各種がん検診等)	237人

(2) 公務災害の認定状況

区 分	認 定 件 数
公 務 災 害	3件
通 勤 災 害	0件

9. 公平委員会の状況（令和5年度）

区 分	認 定 件 数
勤務条件に関する措置要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申し立ての状況	0件

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

地方公務員法第58条の2及び気仙沼・本吉地域広域行政事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第4条の規定により、下記のとおり公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の任免

① 採用者・退職者

区分	採用者数	退職者数
一般行政職	0人	0人
消防職	1人	2人
合計	1人	2人

② 退職事由別退職者数

区分	定年退職	勸奨退職	自己都合退職など	計
退職者数	0人	0人	2人	2人

③ 再任用の状況

区分	新規任用	任期更新	計
再任用者数	0人	3人	3人

(2) 部門別職員数の状況

区分	職員数	対前年増減数		主な増減理由	
		令和6年度	令和5年度		
事務局	正職員	7人	7人	0人	
美術館	正職員	5人	5人	0人	
	会計年度任用職員	7人	7人	0人	
消防	正職員	185人	186人	△1人	自己都合退職△2人、新規採用1人
合計		204人	205人	△1人	

2. 人件費の状況（一般会計決算）

区分	歳出額(A) 千円	実質収支 千円	人件費(B) 千円	人件費比率(B/A)	(参考) R4年度の 人件費比率
令和5年度	1,912,300	39,104	1,528,788	79.9%	72.2%

3. 職員給与の状況

(1) 職員給与費の状況（一般会計の当初予算）

区分	職員数(A)	給与費				1人あたり給与費(B/A) 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計(B) 千円	
令和6年度	204人	750,479	241,113	298,747	1,290,339	6,325

- ※1 職員手当には退職手当を含みません。
 ※2 特別職に支給される報酬は含みません。

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (令和6年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	284,463円	321,313円	43.0歳
消防職	308,811円	388,125円	38.2歳
宮城県(一般行政職)	321,390円	413,589円	42.3歳
国(一般行政職)	323,823円	405,378円	42.1歳

※平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

(3) 職員の初任給の状況

(令和6年4月1日現在)

区分	初任給	区分	初任給
一般行政職	大学卒 196,200円	宮城県(一般行政職)	大学卒 203,800円
	高校卒 166,600円		高校卒 172,200円
消防職	大学卒 224,600円	国(一般行政職)	大学卒 196,200円
	高校卒 188,100円		高校卒 166,600円

4. 職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(令和6年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	参事 主任	与長 査任	主幹	副館長	事務局 次長 館長	
職員数	7人	3人	1人	4人	1人	2人	1人	19人
令和6年度	36.8%	15.8%	5.3%	21.1%	5.3%	10.5%	5.3%	100%

(2) 消防職の級別職員数の状況(令和6年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主査	係長 補佐	指揮隊長 出張所長 課長補佐 分署長補佐 当直司令 主幹	次長 課長 副参事 分署長	消防長	
職員数	39人	53人	29人	27人	26人	10人	1人	185人
構成比	21.1%	28.6%	15.7%	14.6%	14.1%	5.4%	0.5%	100%

5. 職員手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当支給割合(令和6年4月1日現在)

区分	支給割合	手当の内容				
		区分	6月期	12月期	年計	増減(対前年度)
期末手当 勤勉手当	割合	期末手当	1.225月分	1.225月分	2.450月分	0.050月分
		勤勉手当	1.025月分	1.025月分	2.050月分	0.050月分
		計	2.250月分	2.250月分	4.500月分	0.100月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置：5%～15%						

(2) 退職手当支給率(令和6年4月1日現在)

区分	支給率	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	
退職手当	率	自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.7090月分
		勸奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.7090月分	47.7090月分
1. その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2～20%加算) 2. 1人あたり平均支給額：11,500千円						

リアア美



開館時間

午前9時30分～午後5時
※最終入館は午後4時30分まで

休館日

毎週月・火曜日、祝日の翌日(土日除く)
年末年始・メンテナンス休館

常設展観覧料

一般:700(600)円
大学生・専門学生:600(500)円
高校生:500(400)円
小・中学生:350(250)円
※()は20名以上の団体料金

※圏域内小中高生は「アパーク」利用で無料!

所在・お問合せ先

〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢138-5
TEL:0226-24-1611
FAX:0226-24-1448
Email:riasark.m@nifty.com
http://www.riasark.com

※展覧会の会期等は都合により変更となる場合があります。ご利用の際は事前にチラシやホームページ等にてご確認ください。

リアス・アーク美術館

YouTube

Instagram

X(旧:Twitter)

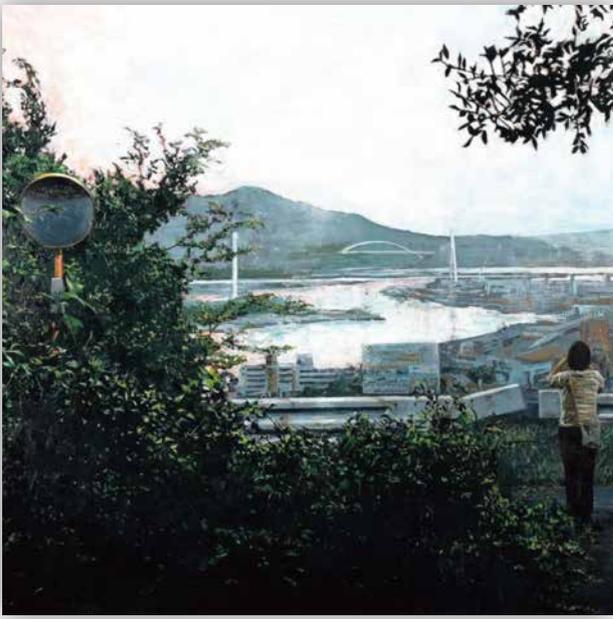
登録してね～!



リア美ホームページ

TOPIC
東北・北海道を描いた絵画公募展
入賞作品決定!

「LANDSCAPE of N.E.」第8回公募展
「東北・北海道の風景と私」審査会(令和6年12月)にて、最優秀賞と優秀賞4点が選出されました。最優秀賞は大河原町在住の鈴木雅之さんの油彩「カーブミラーを越えて」。気仙沼の内湾をS20号で描いた秀作です。いずれも今年春の展覧会にて展示されます。



最優秀賞 「カーブミラーを越えて」 鈴木雅之さん(大河原町在住)



優秀賞 「光、流れ、広がり」 栗田智彦さん(仙台市在住)



優秀賞 「下も下傘の杉林」 菊地葵衣さん(関市在住)

第8回

LANDSCAPE of N.E.

公募展「東北・北海道の風景と私」

4月9日(水)～6月1日(日)

日常的な暮らしの風景や、土地の記憶が刻まれた風景。本展は東北北海道で、日々失われつつある風景を絵画として未来に残すことを目的に、平成20年から隔年で継続開催しています。

前回からタイトル「東北・北海道の風景」に「と私」を付加し、より主観的な作品も含まれた幅広い応募対象としています。

本展では入賞・入選作品と過去の入賞作品を併せた約50点を展示・紹介します。「ぜひ残しておきたい」という思い入れの深い風景画の数々を会場でごゆっくりとお楽しみください。

【観覧無料】



「ツキノワグマ」 森島久枝

2022年
H70×W50×D50mm
ブロンズ、金箔

「背負う者」 永沢碧衣

2018年
H1120mm×W1620mm/P100号
パネルに直接/アクリルガッシュ、岩絵具
水干絵具、胡粉、墨、鉛筆、半紙



多様なアートを体感しよう!

東北・北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画第88・91弾目の作家を2期で紹介します。【観覧無料】※パンフレットを無料で配布します。

N.E. = North Eastern (東北 北海道地域)
blood = 血筋、活力、気質、情熱
21 = 21世紀 未来をしよう。

前期 6月14日(土)～8月24日(日)

88 森島久枝展(岩手県 鑄金)

89 浅野友理子展(宮城県 絵画)

後期 令和8年2月7日(土)～3月22日(日)

90 釣舟富紀子展(宮城県 絵画)

91 永沢碧衣展(秋田県 絵画)

好評企画第9弾！
作品募集！
リアス・ジュニア
絵画コンクール vol.9

本企画は気仙沼市・南三陸町の小学生を対象とした絵画公募展です。テーマは「あんなこと、こんなことしたよ」。入賞者12名には地域商品券(大賞12万円分、優秀賞15千円分)や図書カード(佳作1千円分)が贈られます。夏休み明けに学校を通じて募集を開始します。奮って応募ください！

※展覧会期は11月15日(土)～12月27日(土)
【応募・観覧ともに無料】



参加者募集！
人気企画！今年もやります！！
新！方舟祭2025

9月25日(木)～11月3日(月)

方舟祭(はこぶねさい)は当館主催の市民参加型文化祭です。表現活動を行っている方々の絵画・写真・手工芸等の展示や、楽器演奏会などの多彩な発表を週替わりで紹介します。

6月初旬から参加募集を受け付けます。初めての方も大歓迎！どうぞお気軽にご参加・鑑賞ください。

【応募・観覧ともに無料】



常設展

共通チケットで①②③のすべてをご覧いただけます。

①歴史・民俗資料展ニ示

「方舟日記」海と山を生きるリアスな暮らし
三陸地域の歴史・生活文化を【食】を軸として紐解き、手描キイラストや写真を添えて紹介しています。



身近な催事、年中行事などのルーツや豆知識を紹介するミニ展示「方舟漂流記」。現在の展示は「旅」をテーマにあれこれ考察します。

②収蔵美術作品展示

東北・北海道を中心とした当館ゆかりの美術家の作品約70点を作家紹介とともに展示しています。

③東日本大震災の記録と津波の災害史

当館学芸員らが取材した記録写真203点と収集した多くの被災物に解説を添え、明治29年・昭和8年の津波と地域文化の資料等と併せて展示。津波と地域文化の関係、海とともに生きる地域の未来を考えます。

ワークショップから参加者募集のお知らせ

「アフラゼミ」開講

通年

4月から翌年3月(毎月第2・4日曜日)までの通年ゼミです。絵画を基礎から学び、油彩画を制作します。参加は無料。高校生以上が対象です。お問い合わせは当館(24-1611)まで。

夏休み 親子クラフト教室

親子でものづくりの楽しさを味わうクラフト教室を8月8・9・10日に開講します。詳細は学校へ配布するチラシや7月頃の当館HPの記事をご覧ください。

【参加無料・定員の組・要事前申込み】

共催展覧会の予定

- けせもい展 高校美術合同展 / 9月中旬
- 気仙沼市立小中学校図工・美術作品展・ユネスコ世界児童画展 / 11月初旬
- 気仙沼市立小中学校児童生徒書きぞめ展 / 2026年1月末
- 気仙沼支援学校児童生徒作品展 / 2026年1月末
- 気仙沼・南三陸フォトコンテスト入賞作品展 / 2026年3月末

令和6年消防統計

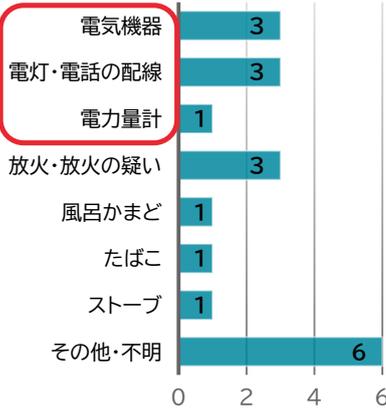


広域消防 女性消防員活躍推進 オリジナルキャラクター
(左) みなみちゃん (右) かなえちゃん

令和6年の火災について

当広域管内における令和6年の火災件数は19件(前年比2件増)で、気仙沼市16件、南三陸町3件でした。火災種別は建物火災が8件と一番多く、出火原因は**電気に関係する火災が多い**傾向にあります。火災による負傷者は2人(昨年比1人増)でしたが、死者は0人で、7年続けて火災による死者ゼロを達成することができました。(令和7年に入り火災による死者が1名発生)

令和6年 出火原因別



火災事例と対策について

【電気製品による火災】

- ・車に放置したモバイルバッテリーから出火
 - ・リコール対象製品の電気コンロから出火
- 【対策のポイント】
- ・モバイルバッテリーは直射日光の当たる場所や炎天下での使用はしない。
 - ・リコール情報が届くように製品メー

カーのユーザー登録を行う。
消費者庁の「リコール情報メールサービス」に登録する。(無料)

【スプレー缶の破裂による火災】

住宅のストーブの前に置かれたスプレー缶が熱せられ、破裂し、噴出したガスがストーブの炎に引火、爆発し出火

【対策のポイント】

スプレー缶は直射日光のあたる場所、高温になる場所、コンロなどの火気の近くに置かない。

「スプレー缶の捨て方」存じですか？
気仙沼市 完全に使いきり、缶に穴を開けない
南三陸町 屋外で穴を開ける(プラスチックの蓋は取らない)
※必ず中身を使い切り、自治体が定める方法で捨てる。

当消防本部のホームページでは、過去の火災事例や住宅防火対策を掲載しておりますので、ご覧ください。※ページ左下QRコードから



スプレー缶の破裂による火災

山火事の防止について

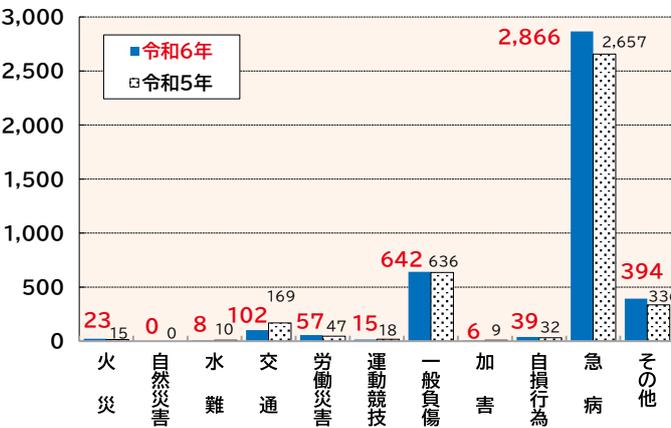
これからは、空気が乾燥し風が強く、山火事が発生しやすい時季を迎えます。山火事の主な原因は「ゴミ焼きやたき火、たばこの投げ捨てによるもの」です。屋外における火の取扱いは十分注意しましょう。

※野外焼却は法律で原則禁止されています。

令和6年の救急について

令和6年の救急件数は、東日本大震災のあった平成23年を含め、過去最多を記録し、救急出動は4152件で、3843人が搬送されました。

これは、一日平均約11回救急車が出勤し、圏域住民の約17人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出動件数で2233件、搬送人員で2811人の増加となっています。搬送人員の割合として、事故種別では急病が全体の約69%、年齢別では65歳以上の高齢者が約77%を占めています。また、傷病程度別では入院加療が必要な重症が約12%、中等症が約53%に対し、入院加療を必要としない軽症が約32%を占めています。



救急車の適正利用にご協力ください

令和6年の出動件数4152件のうち不搬送が320件あります。

そのうち辞退・拒否等は183件、誤報・いたずら等によるものは15件ありました。

本日に救急車が必要な方のために救急車の適正利用をお願いします。

宮城県は、夜間・休日・急な病気やけがで救急車を呼ぶべきか迷うときや、応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルを開設しています。

看護師等が、受診の必要性や医療機関を案内しますので、ご利用ください。

◆おとな救急電話相談 #7119

平日 19時～翌8時
土曜 14時～翌8時
日曜・祝日 24時間

◆こども夜間安心コール #8000

毎日 19時～翌8時

令和6年中の不搬送件数



ホームページはこちらのQRコードから

